

感染防止対策と学びの保障に向けて ～ 学校と家庭の連携強化で

新型コロナウイルスのオミクロン株が急拡大していることに伴い、学校でもこれまで実施してきた感染拡大防止対策に加えて、行事等の実施方法の見直しを進めています。学校生活では、これまでの対策を継続して徹底していくとともに、特に教室等の十分な換気に気を配っています。マスクを着用しているとは言え、新鮮な空気を取り入れてウイルスの濃度を下げる必要があるからです。寒さ対策には防寒着の着用や膝掛けの使用で対応しています。生徒の皆さんは、この厳しい状況を真摯に受け止めて、どの学年・学級でも、給食時の黙働（配膳）や黙食の精度が高まり、全く話すことなく45分間の配膳、喫食、片付けを実践しています。

このような対策を取りながら、残りわずかな今年度の学習を着々と進めていきます。県知事から国にまん延防止等重点措置の適用が申請されたことにより変更しなければならない行事等を、最後尾に示しました。詳細は学年・学級を通して改めてご連絡します。授業日であっても、体調が思わしくない時、熱がある時、かぜの症状が見られる時などは無理をせず、学校に連絡して家庭で休養してください。健康な体があつてこそその学校生活です。7時30分以前、18時30分以降や休日には、牛久市役所の代表番号873-2111に電話して、学校と連絡を取りたい旨をお伝えください。

各学年の授業から～いつもと変わらない下根中の生徒たちの学び

3年生はほとんどの私立高校の受験を終え、次の県立高校の学力検査に向けて追い込みに入っています。各教科の授業でも、ひとつひとつの事項を正確に理解しているか確認する表情が真剣そのものです。そのような中でも英語の授業では、仮定法（もし～だったら）を使って「牛久市長だったら何をする？」という問答を、次々にパートナーを代えながらリラックスして楽しんでいるようでした。



「自分を知る」ことは難しい？



理科のテストを振り返る1年生

2年生の教室では、進路学習の第一歩として「自分を知る」というテーマで自分の特徴をつかむ活動をしていました。1年後には今の3年生と同じように受験期を迎える2年生。各教科の学びにも一層真剣味を増してきました。自分の特徴は他者からの見方もとても参考になります。友達に訊いてみるのもよいかもしれません。

1年生の教室では、県学力診断テストを振り返っていました。テストは自分の「学びのカルテ」です。できたところは健康なところ、間違えたところはこれからなおしたいところ。だからテストは事後が大事ですね。1年生は2年後に受験期を迎えます。やはりひとつひとつの学びや授業を大切にしていきたいものです。

どの学年・学級でも、寒さにもかかわらず常に換気に心がけ、健康を維持しながら学び続けています。



公民で税の仕組みを再確認



自分が市長だったら何をする？

変更する 教育活動

現時点で予定している変更は次のとおりです。詳細は改めてご連絡します。

- 1年思春期保健講座（1.28→中止）
- 市かがやき展（1.27～30→延期）
- 2年思春期保健講座（2.22→中止）
- 1年イタリア交流（2.9→延期）
- 2年スキー宿泊学習（延期→2.23～25）
- 入学説明会（2.3→オンラインに変更）